



キッチンハウスの見学会を開催するキッチンブランド「Kitchenhouse」
 最新のインテリアデザインとこだわりの家具でコーディネートされた上質な空間を体験しませんか。
 また、青 研吉氏設計の巨石に覆われた石が主役の美術館と自然の奇麗な青島一氏
 ・ラウンドスケープアーキテクトの庭造り・造園・造景の庭造り（廣澤美術館）
 見どころたっぷりの「Kitchenhouse tour in IBARAKI」 開催のご案内がお待ちしております。

【日時】
 2023 9/5(火)
 【参加費】
 7,000円(会員料 9,000円)
 【定員】
 25名(先着) 8/27(日)締切



【日時】
 2023 9/5(火)
 【参加費】
 7,000円(会員料 9,000円)
 【定員】
 25名(先着) 8/27(日)締切

9月5日(火)kitchen house tour in IBARAKI が開催されました。朝7時30分郡山出発。皆さん早起きして参加されました。茨城まで3時間と長距離の移動でしたが、台風で心配されたお天気も茨城は快晴に恵まれ、久しぶりに楽しいバスツアーとなりました。廣澤美術館見学後キッチンハウスつくばショールームを見学してきました。参加者 15名 会員 3名 一般

FIC 福島県インテリアコーディネーター倶楽部
 (お問い合わせ) FAX: 024-952-2944
 FAX : 024-952-2944
 E-mail : kabutu@9320301@nifty.com

FIC 福島県インテリアコーディネーター倶楽部
 (お問い合わせ) FAX: 024-952-2944
 FAX : 024-952-2944
 E-mail : kabutu@9320301@nifty.com

廣澤美術館見学

廣澤美術館は茨城県筑西市にあります。ザ・ヒロサワ・シティーという東京ドームの2倍ほどあるテーマパークの中にある美術館です。建築家、隈研吾氏の設計で巨石に覆われた「石が主役」の美術館で、2021年1月に開館しました。作庭家の齊藤忠一氏による日本庭園、ラウンドスケープアーキテクトの宮沢俊作氏設計施工の庭は建築とともに大きな見どころになっています。



文字通り巨石に覆われた外観は圧巻でした。



正門には左官士 扶土秀平氏の名前がありました。



kitchen house つくばショールーム見学

kitchen house は、ドイツ製システムキッチンの輸入販売から始まった高級システムキッチンの草分けです。その後、日本の生活に適したキッチンの開発、製造のために自社工場を立ち上げ、様々な研究開発を続けています。2700坪という広い敷地に建てられたショールームも広々として、1つ1つのキッチンがゆったりと展示されていました。キッチンの壁面タイルや食器、カトラリー、小物までトータルコーディネートしており、飽きずに見て歩くことができました。家族が集まるキッチンは住宅のかなめとなる大切な場所。暮らしに合ったキッチンをじっくり選べる素敵なショールームでした。



外回りの植栽はプラントハンターの西島清順氏が手掛けたものだそうです。背の高いパンパスグラスが印象的でした。



会社の歴史や商品の説明を聞いてから3班に分かれて説明を聞きながら見て回りました。



隈研吾氏デザインのキッチン「IRORI」
2015年ミラノサローネで展示したものです。



熱心にメモを取りながら聞いています。





高級感あふれるオートクチュールのキッチンからある程度厳選されていてリーズナブルになっているものもある。カラーバリエーションも豊富。

選んでいるとあっという間に時間がたちそう・・・



ボッシュやミーレの食洗器もいれられます。幅45cmと比べると60cmはかなり大きくて場所を取ってしまいますね。ここで実際見るとサイズ感がわかります。

菅原慎吾部長詳しい説明、案内有難うございました。

9/5 キッチンハウスバスツアーin IBARAKI

に参加いたしました。

【廣澤美術館】

隈研吾の設計らしく

竹と石と木組みのデザイン、

全国から集められた約 6,000 t、1,500 個の巨石が主役。

地元 筑西市出身の 森田茂さんの力強い展示を鑑賞した後は

外にでて、日本庭園を思い思いに散策して、楽しみました。

【キッチンハウスつくばショールーム】

カタログの中に入ったようなショールーム

こちらの、見どころは

2015年にミラノサローネに展示をした 隈研吾デザインのコンセプトキッチン 『IRORI』

ゆったりとした敷地の中で、ラグジュアリーなキッチン

じっくりと体感することができました。

ICとして感じているのは、住まいのインテリアのキメテの一つは、

間違いなく、キッチンであるという事。

昨年11月の本間美紀先生の講演会のお話にもありましたが、

やはり美しいインテリアには、細かなひとつひとつのこだわりを積み重ねて

いくことが必要であるという事をあらためて感じました。

伊藤クミコ